

た。関連学会合同の欧文機関誌を創刊する件は消極的な意見が多かった。

- ・(里村理事)先に「研究ネットワーク連合委員会」に加盟申請し、同委員会幹事会で承認されていたが、5月23日に日本教育会館で総会を開催するとの通知があった。気象学会の正式加盟は総会で承認される予定。

3. 会員の新規加入等について

個人27名、団体1の入会を承認。個人6名、団体2の退会を報告。

4. 一部理事の辞任および後任理事候補の推薦についての投票結果について

27理事のうち24理事から投票があり、過半数の承認があったため、佐野昭、滝川雄壮両理事の辞任が承認され、加藤一靖、中山高両会員を後任の理事候補として総会に提案することも了承された。

5. 弔事に関する学会内規の改正について

【天気】に訃報を掲載する範囲の明確化等について庶務担当理事が手直した改正案について討議。原案通り承認され、即日施行した。

6. 委員の交代について

天気編集委員会と講演企画委員会から申し出のあった委員の交代を常任理事会として了承。

7. 第28期第3回理事会に提出する議題について

○春季大会、秋季大会の担当機関の決定について、
○常任理事の交代について、○名誉会員の推薦基準および手順について、○「気象科学事典」の企画に

対する対応方針について、○学会賞における連名論文の評価基準について、の各テーマについては、庶務担当理事の提案通りの審議方針のもとに議題として取り上げることが了承された。

「地球惑星関連学会連絡会への対処方針について」を理事会で議論することについては、短時間では実りある討議は難しいと思われるので、問題提起程度にとどめることとする。これとは別に、流体地球関連の諸学会との連携をどうしていくかの問題は、21世紀の気象学会のありかたに関係する重要課題であり、総合計画担当理事を中心に、若手の学会員を主体とした。しかるべき場で議論してもらうこととする。

8. 1994年度事業報告及び決算報告について

事業報告は若干の修正を行う。決算報告は了承された。4月14日に行われた監査結果の報告についても討議し、95年度事業計画に反映できるものは取り入れていくことを了承した。

会費収入、管理費支出の配分まで考慮した部門別収支計算が参考資料として示され、【気象集誌】の発行は黒字であり、【天気】の発行は赤字、大会開催費等も赤字であることが説明された。これに関連して、学会の収入・支出のありかたについて若干の議論があった。

9. 1995年度事業計画及び予算案について

一部の字句修正を加えたうえで理事会および総会に諮ることを了承。

秋季大会申込用紙の訂正

「天気」5月号の末尾に挿入された秋季大会の申込用紙に誤りがありましたので、以下の通り訂正します。

記

「申込方法」のうち、左段の下から3行目「申し込

む場合には…」を、「口頭発表とポスターの両方に申し込む場合には……」に訂正します。

申込用紙裏面「キーワードについて」のうち、右段最下行のスペシャル・セッション……の項を削除します。